

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設 に係る整備、維持補 修又は維持 運営等措置	林道向名線落石対策測量設計業 務	出雲市	4,448,000	4,448,000	総事業費 4,550,700

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称															
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	林道向名線落石対策測量設計業務															
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		出雲市															
交付金事業実施場所	出雲市乙立町																
交付金事業の概要	<p>林道向名線は、一級河川神戸川左岸の殿川内集落と右岸の向名集落を繋ぐ、総延長2,340mの林道です。集落間を連結する主要な生活道として昭和35年に開設され、現在では林業施業する人や通勤通学等地域にとって大切な路線となっています。</p>																
	<p>林道開設時においては、段丘崖を切削することにより道路を整備し、転石などは見受けられませんでした。その後の降雨等により段丘崖の風化が進み、現在、林道斜面に比較的大きな転石・浮石群が存在するとともに、ここ数年、毎年数回、こぶし大の落石が発生しており、けが人は出でいませんが、交通に支障を及ぼしている状況です。</p>																
	<p>落石は、神戸川左岸（A工区）80m及び右岸（B工区）120mにおいて発生しており、このうち落石発生頻度の高いA工区内の38m及びB工区内の40mについては、年次的に落石対策を実施し対策済みとなっています。本年度以降は、未対策であるB工区（80m）の落石対策を実施します。</p>																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="824 979 999 1034">施工年度</th> <th data-bbox="999 979 1379 1034">施工内容</th> <th data-bbox="1379 979 1621 1034">施工延長・面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="824 1034 999 1088">R6</td> <td data-bbox="999 1034 1379 1088">落石対策測量設計業務</td> <td data-bbox="1379 1034 1621 1088">80m ・ 0.35ha</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 1088 999 1142">R7</td> <td data-bbox="999 1088 1379 1142">落石対策詳細設計業務</td> <td data-bbox="1379 1088 1621 1142">80m ・ 0.35ha</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 1142 999 1197">R8</td> <td data-bbox="999 1142 1379 1197">落石対策工（落石防護網工）</td> <td data-bbox="1379 1142 1621 1197">40m ・ 0.18ha</td> </tr> <tr> <td data-bbox="824 1197 999 1235">R9</td> <td data-bbox="999 1197 1379 1235">落石対策工（落石防護網工）</td> <td data-bbox="1379 1197 1621 1235">40m ・ 0.17ha</td> </tr> </tbody> </table>	施工年度	施工内容	施工延長・面積	R6	落石対策測量設計業務	80m ・ 0.35ha	R7	落石対策詳細設計業務	80m ・ 0.35ha	R8	落石対策工（落石防護網工）	40m ・ 0.18ha	R9	落石対策工（落石防護網工）	40m ・ 0.17ha	
	施工年度	施工内容	施工延長・面積														
R6	落石対策測量設計業務	80m ・ 0.35ha															
R7	落石対策詳細設計業務	80m ・ 0.35ha															
R8	落石対策工（落石防護網工）	40m ・ 0.18ha															
R9	落石対策工（落石防護網工）	40m ・ 0.17ha															

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>出雲市国土強靱化地域計画（令和2年度～令和6年度） V 施策分野ごとの推進方針 2 住宅・都市・土地利用 (3) 都市づくり・土地利用 (液状化・崩落危険地域の予防対策) ・地震発生時に、落石や法面崩壊等が発生する可能性があることから、道路施設の被害を防止する必要がある。 (農林基盤課) 目標：落石や法面崩壊等により孤立する集落の予防。</p>					
<p>事業開始年度</p>	<p>令和6年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>	<p>令和9年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>R6～R7年度に測量設計を行い、R8～R9年度に対策工事を実施するため。</p>					
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標</p>	<p>成果指標</p>		<p>単位</p>	<p>評価年度 令和9年度</p>	
	<p>対策が必要な範囲における対策済箇所の割合 (%) 100%</p>	<p>対策済み箇所／対策が必要な全箇所×100 (%)</p>	<p>成果実績</p>	<p>%</p>		
			<p>目標値</p>	<p>%</p>	<p>100.0</p>	
			<p>達成度</p>	<p>%</p>		
	<p>評価年度の設定理由</p>					
	<p>当該事業が完了するのが、令和9年度であるため。</p>					
	<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>—</p>						
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>						
<p>無</p>						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	林道向名線落石対策測量 設計業務進捗量	活動実績	m	80			
		活動見込	m	80	80	40	40
		達成度	%	100.0			
交付金事業の総事業費等	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
総事業費	4,550,700						
交付金充当額	4,448,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	4,448,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額		
落石対策測量設計業務		指名競争入札	島建コンサルタント(株) (出雲市)		4,550,700		
		計			4,550,700		
交付金事業の担当課室	出雲市農林水産部農林基盤課						
交付金事業の評価課室	出雲市農林水産部農林基盤課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路改良事業	益田市	5,284,000	5,284,000	総事業費 6,243,600

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表 (令和6年度)

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		益田市
交付金事業実施場所		益田市横田町
<p>交付金事業の概要</p>	<p>本事業は市道横田住宅団地1号線のうち、起点側の120mの区間の道路改良を行う事業です。本年度は一部区間の道路改良工事を行います。</p> <p>益田市の管理する市道横田住宅団地1号線は、総延長320m、道路幅員2.8~4.3mの歩道の無い車道だけの幅員狭小道路です。「横田住宅団地」と呼ばれる40棟近くの家屋が密集する団地内の基幹道路です。このうち特に、市道の起点側120mの区間は団地内への出入りのための唯一のルートとなっています。一方で、起点側120mの区間は幅員が4mに満たず最小幅員3.6mと狭小で、車両同士の円滑な離合が困難な状況となっており、接触事故等、かねてから安全性に懸念があります。</p> <p>一般的には道路を拡幅改良することで離合の困難は解消されますが、起点部に防火用貯水池があるうえ、拡幅工事を行った場合、工事期間中の迂回ルートが無く、団地内への車両の進入が困難となる等の課題がありました。</p> <p>このほど、当該市道沿線の市営住宅が老朽化のため他地区へ移転となり、また、市営住宅と市道用地との間の民有地の買収も令和元年度に行ったことから、当該区間の改良については、現道を維持しながら並行するバイパス的な道路改良整備が可能となりました。このため、本交付金を活用することにより、当該区間について、幅員5.0mのバイパス的な道路を改良整備し、団地内を出入りする車両同士の安全な離合を可能とし、日常生活の利便性向上を図ろうとするものであります。</p> <p>平成30年度より本交付金事業を財源の一部として活用して、道路整備のための調査設計として、当該整備予定区間120mの測量を行い、ルート決定、並びに道路設計のための平面図作成、路線測量(中心線測量、縦断測量、横断測量等)を行い、(ルート決定、路線測量、道路設計については市単独事業で実施)用地測量を行い用地取得を行いました。</p> <p>令和2年度より道路改良工事に着手しており、今年度も引き続いて事業を行うものです。</p> <p>なお、令和6年度は当該改良工事で整備した120mのバイパスを、起点側の市道市原線に接続して供用開始するため、路面標示(外側線)を市道市原線側に施工する都合上、市道市原線側の20mを加えて全体工事延長を140mとしています。</p> <p>(令和6年度の実施内容)</p> <p>施工延長 L=140m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路土工 掘削工 V=70m³ ・舗装工 舗装工 A=316m² 	

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>第6次益田市総合振興計画後期基本計画（令和3年度（2021年）3月） 基本目標Ⅳ：ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち 基本施策1：市内外のアクセスを確保する道路網整備 ⑤：市道（街路）・農道・林道の整備 地域の生活道路は、既存の道路の維持・管理に努めるとともに、必要に応じ新設・改良を進め、日常生活の利便性の向上を図ります。 目標指標：市道改良延長 現状値（令和元年度）：511km 目標値（令和7年度）：514km</p>						
<p>事業開始年度</p>	<p>平成30年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>令和6年度</p>		
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>平成30年度に測量、設計、令和元年度に用地測量、用地取得、令和2年度に工事着手を行い、令和6年度の供用開始を見込むため。</p>						
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標 市道のうち幅員が狭く離合が困難な箇所の解消。</p>	<p>成果指標 整備が完了した区間÷整備予定区間</p>	<p>成果実績 目標値 達成度</p>	<p>単位 % % %</p>	<p>評価年度 令和6年度 100 100 100</p>		
<p>評価年度の設定理由</p>							
<p>市道横田住宅団地1号線道路改良工事が完了し供用が開始されるのが令和6年度であるため。</p>							
<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>							
<p>—</p>							
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>							
<p>無</p>							
<p>交付金事業の活動指標及び活動実績</p>	<p>活動指標 側溝の整備延長（R4、R5） 舗装の整備面積（R6）</p>		<p>活動実績 活動見込 達成度</p>	<p>単位 m、m m、m %</p>	<p>令和4年度 53 53 100.0</p>	<p>令和5年度 3 3 100.0</p>	<p>令和6年度 316 316 100.0</p>
<p>交付金事業の総事業費等</p>	<p>令和4年度</p>		<p>令和5年度</p>		<p>令和6年度</p>		<p>備考</p>
<p>総事業費</p>	<p>5,788,200</p>		<p>6,792,500</p>		<p>6,243,600</p>		<p>総事業費 37,000,000円</p>
<p>交付金充当額</p>	<p>5,471,000</p>		<p>5,371,000</p>		<p>5,284,000</p>		
<p>うち文部科学省分</p>							
<p>うち経済産業省分</p>	<p>5,471,000</p>		<p>5,371,000</p>		<p>5,284,000</p>		
<p>交付金事業の契約の概要</p>	<p>契約の目的</p>		<p>契約の方法</p>		<p>契約の相手方</p>		<p>契約金額</p>
<p>工事実施</p>			<p>指名競争入札</p>		<p>(株)倉栄（益田市）</p>		<p>6,243,600円</p>
<p>計</p>							<p>6,243,600円</p>
<p>交付金事業の担当課室</p>	<p>益田市建設部土木課</p>						
<p>交付金事業の評価課室</p>	<p>益田市建設部土木課</p>						

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	布部飯田水路測量設計業務	安来市	4,147,000	4,147,000	総事業費 4,147,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表 (令和6年度)

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	布部飯田水路測量設計業務
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安来市
交付金事業実施場所	安来市広瀬町布部	
交付金事業の概要	<p>市の中央部に位置する広瀬町布部地区は、中山間地で水稻を中心とする農耕地です。飯田水路は布部地内飯梨川右岸を南北に縦断し、受益面積7.4ha、11戸の水田を賄う基幹水路として機能しています。</p> <p>しかし、水路の老朽化により常態的に漏水している箇所があり、増水時に越水が発生している状況にあります。4月頃から水田に多くの水が必要なときにU字溝が細いため十分な水の確保ができず、また、断面が不足する箇所においては、増水時には越水し、付近の田畑が水浸しになる状況にあります。</p> <p>このため、令和7年度に予定している対策工事のための測量設計を行います。</p> <p>令和6年度：測量設計業務 (L=120m)、令和7年度以降：対策工事 (L=120m)</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【交付金事業に関係する主要政策・施策】</p> <p>第2次安来市総合計画 (平成28年～令和7年)</p> <p>基本理念 活力・快適・らしさ・つながり・安心</p> <p>基本政策 みんなで支えあうまちづくり / 第4章 産業・観光・雇用 / 第1節 農林水産業の振興 / 方向 営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する</p>	

事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和8年度		
事業期間の設定理由	令和6年度に測量設計を行い、令和7年度以降に工事を行うため。				
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和8年度
	飯田水路における改修工事により安全に管理できるようになった水路延長の割合(100%)	改修工事が完了した区間/ 改修予定区間	成果実績	%	
			目標値	%	100
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	令和7年度から2か年程度かけて工事を行い、事業完了後に評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	-				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和6年度	年度	年度	
	飯田水路の測量設計延長		活動実績	m	120		
			活動見込	m	120		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和6年度	年度	年度	備考			
総事業費	4,147,000						
交付金充当額	4,147,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	4,147,000						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
	測量設計	指名競争入札	(株)大建コンサルタント安来営業所(安来市)		4,147,000		
		計			4,147,000		
交付金事業の担当課室	安来市政策推進部広瀬地域センター						
交付金事業の評価課室	安来市政策推進部広瀬地域センター						

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校維持運営事業	江津市	4,583,000	4,583,000	総事業費 8,149,285

II. 事業評価個表 (令和6年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		江津市		
交付金事業実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・江津中学校 (江津市江津町) ・江東中学校 (江津市後地町) ・青陵中学校 (江津市二宮町神主) ・桜江中学校 (江津市桜江町川戸) 			
交付金事業の概要	<p>江津市教育大綱において、江津市は目指す姿として「夢と志をもち、未来を切り拓こうとする人」と定めており、その教育方針で「教育活動の質の向上」と定めています。</p> <p>GIGAスクール構想に必要な機器整備や、教員の負担を軽減するための人の配置など、学校環境を維持運営するための経費は増加傾向となっています。また、江津市では、近年の夏の猛暑のため各学校の教室にエアコンの整備を行いました。快適な学習環境を維持するための費用が増加しています。本交付金を中学校の電気代へ充当することによって、継続的に快適な学習環境を構築し、公共用の施設の維持運営を図ります。</p> <p style="text-align: center;">市内中学校4校の電気代 6か月分</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第6次江津市総合振興計画 (令和2年度 (2020年度) ~令和11年度 (2029年度))</p> <p>基本方針5 豊かな心を育む芸術・文化・教育・スポーツのまちづくり</p> <p>施策2 豊かな創造性を育む人づくり</p> <p>(2) 学校教育の充実 具体的な取り組み</p> <p>③ 信頼される学校づくりの推進</p> <p>● 学習の基盤となる学習環境の整備</p>			
事業開始年度	令和6年度		事業終了 (予定) 年度	令和6年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和6年度
	事業実施期間における中学校開校日のうち、快適な学習環境を提供できた日数の割合(100%)	快適な学習環境を提供できた日数/開校日数	成果実績		%	100.0		
			目標値		%	100.0		
			達成度		%	100.0		
<p style="text-align: center;">評価年度の設定理由</p> <p style="text-align: center;">毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施します。</p> <p style="text-align: center;">交付金事業の定性的な成果及び評価等</p> <p>交付金を、市内中学校の電気代に充当することにより、夏季、冬季においてエアコンを活用することができました。このことにより、中学校に通う学生に快適な学習環境を提供することが可能となり、また、中学校施設の維持運営に資することができました。</p> <p style="text-align: center;">評価に係る第三者機関等の活用の有無</p> <p style="text-align: center;">無</p>								
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業実施期間における中学校開校日のうち、快適な学習環境を提供できた日数	活動実績		日	91	93	92	
		活動見込		日	91	93	92	
		達成度		%	100.0	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
総事業費		8,823,657	7,726,774	8,149,285				
交付金充当額		4,545,000	4,545,000	4,583,000				
うち文部科学省分		0	0	0				
うち経済産業省分		4,545,000	4,545,000	4,583,000				
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
中学校にかかる電気の使用		随意契約(特命)		中国電力(株)(広島市)		3,426,534		
		随意契約(特命)		神楽電力(株)(江津市)		4,722,751		
		計				8,149,285		
交付金事業の担当課室		江津市学校教育課						
交付金事業の評価課室		江津市学校教育課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	吉田町防災用除雪機整備事業	雲南市	1,595,000	1,595,000	総事業費 1,595,000

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	吉田町防災用除雪機整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所		雲南市吉田町吉田
交付金事業の概要	<p>多雪地域である吉田町内において、災害時における通行経路の確保および指定避難所周辺の除雪のために除雪機を整備します。</p> <p>吉田町吉田地区において、避難所開設となった際には、雲南市吉田総合センターに隣接する雲南市吉田健康福祉センターが指定避難所となります。</p> <p>現在、雲南市吉田健康福祉センター駐車場の除雪は、市所有の既存除雪機1台および人力により市職員で対応しておりますが、老朽化に伴う除雪機処理能力の低下、市職員の減少により除雪作業に支障を来しています。</p> <p>また、吉田町内には他に2箇所の指定避難所があり、これらの避難所も迅速に開設する必要があります。よって、今回、新たに除雪機を2台追加で整備し除雪車で除雪作業を行うこととします。</p> <p>今回、導入する2台の除雪機は、軽トラックへの積み込みが可能な機械の中で最大サイズの物となっており、積雪量が多い時でも十分な処理能力がある物となっています。配備場所については、2台ともに雲南市吉田総合センターとしており、各避難所の状況に応じて運搬し、除雪作業を行います。</p> <p>また、使用頻度については、年間平均10回程度を見込んでおり、除雪作業については、市職員あるいは地域住民で行うこととしています。</p> <p>整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <p>・除雪機 2台 合計2点</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>令和6年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015-2024）】</p> <p>政策II 安全・安心で快適なまち</p> <p>施策16 消防・防災対策の推進</p> <p> 防災意識の向上と実践、防災施設の整備</p> <p> 防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。</p> <p>施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合</p> <p>現状 29.5%（現状値：令和3年度実績：吉田地域）</p> <p>目標 40.0%（令和6年度）</p>	

事業開始年度	令和6年度		事業終了(予定)年度	令和6年度		
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和7年度
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 40.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭内での備え」についての項目に、していると答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%		
			目標値	%	40.0	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	-					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和6年度	
	吉田町への除雪機整備数		活動実績	基	2	
			活動見込	基	2	
			達成度	%	100.0	
交付金事業の総事業費等	令和6年度				備考	
総事業費	1,595,000					
交付金充当額	1,595,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	1,595,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
備品購入		随意契約(不落)		(有)木村農機商会(雲南市)		1,595,000円
		計				1,595,000円
交付金事業の担当課室	雲南市吉田総合センター市民サポート課					
交付金事業の評価課室	雲南市吉田総合センター市民サポート課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （湯村連合自治会 自治会 集会所改修整備、自治会集 会所昇降路整備、ゴミ集積 場建替）事業	雲南市	1,993,200	1,993,200	総事業費 1,993,200

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（湯村連合自治会 自治会集会所改修整備、自治会集会所昇降路整備、ゴミ集積場建替）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所		雲南市木次町湯村
交付金事業の概要	<p>湯村連合自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、漆仁自治会、東自治会、前側自治会で構成された連合自治会です。また、会員数157名（59世帯）・高齢化率44.59%（令和6年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。</p> <p>【集会所改修整備】 当自治会集会所は、自治会活動の拠点として、また自治会内での交流の場として平成元年度に整備され、初期の災害時には自治会内での一時避難場所としても利用されています。 現在まで当自治会集会所のトイレは和式であり、高齢化が進む当自治会において、年々不便さを強く感じるようになってきています。また、現在使用しているエアコンは平成12年製のものであり、製造から24年経過していることから機器性能の低下により温度管理が難しく、寒暖の著しい時期の施設利用については体調に支障をきたす恐れがあります。自治会内の交流場所として安全かつ快適に利用することができるように、トイレの洋式化とエアコンの更新を行います。 具体的な事業内容は＜トイレ洋式化＞衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事＜エアコン更新＞電気設備工事、建築工事、空調設備工事です。</p> <p>【集会所昇降路整備】 当自治会集会所の法面には、昇降路（スロープ）が設置されており、この昇降路を利用することで、地震などの緊急避難時に集会所下の広場へ速やかに避難することができるようになってきています。しかし、昇降路周辺の法面の砂がこの昇降路へ少しずつ流れ込み、昇降路の表面に溜まるため、昇降路の表面が滑りやすくなっており、特に車いすや杖を使用される方、小さな子どもなどにとっては、転倒の可能性が高く危険な状態です。今回、この昇降路に木柵工を行い、法面の砂の流入を防ぐことで、安全に通行できる昇降路の整備を行います。 具体的な事業内容は、木柵工 です</p> <p>【ゴミ集積場建替え】 湯村連合自治会内の東自治会が使用しているゴミ集積場は、約20年前、河川の近くに地元住民が手作りで建設したもので、現在、床板や壁板等の老朽化が進み、倒壊の危険が高くなってきています。 このような危険な状態であることから、自治会内の衛生環境の充実のため、現在のゴミ集積場を撤去し、新たに安全な場所にゴミ集積場を建替えを行います。 具体的な事業内容は、解体工事、基礎工事、物置設置工事です。</p> <p>以上のことから、自治会集会所の改修及び集会所昇降路の整備を行うことで、自治会活動の拠点及び災害時初期の一時避難場所としての機能維持を確保することができ、より安心・安全な自治会の中心拠点としての更なる利用が見込めます。また、ゴミ集積場建替えを行うことで、自治会内の衛生環境の充実を図ることができるようになり、より安心・安全な自治会活動を行うことができるようになると考えられます。</p>	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）（後期基本計画 令和2年度～令和6年度）】</p> <p>政策I みんなで築くまち《協働・行政経営》</p> <p>施策1 市民が主役のまちづくりの推進</p> <p>方針 あらゆる市民・団体等が活動に参加できる環境をつくります。</p> <p>過去1年間に地域活動に参加した市民の割合(木次地域) 現状：63.0%（令和4年度実績）(木次地域) 目標：75.0%（令和6年度）(市民)</p>				
事業開始年度	令和6年度		事業終了（予定）年度		令和6年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標 過去1年間に地域活動に参加した市民(木次地域)の割合 75.0%	成果指標 市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した市民」項目にあると答えた数(木次地域) / 市民アンケート回答者数(木次地域)	成果実績 目標値 達成度	単位 % % %	評価年度 75.0
評価年度の設定理由					
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
交付金事業の定性的な成果及び評価等					
ー					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標 ・集会所改修整備 ・集会所昇降路整備 ・ゴミ集積場建替	活動実績 活動見込 達成度	単位 件 件 %	令和6年度 3 3 100.0	

交付金事業の総事業費等	令和6年度			備考
総事業費	1,993,200			
交付金充当額	1,993,200			
うち文部科学省分	0			
うち経済産業省分	1,993,200			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
補助金交付	補助金	湯村連合自治会（雲南市）	1,993,200	
	計		1,993,200	
交付金事業の担当課室	雲南市木次総合センター自治振興課			
交付金事業の評価課室	雲南市木次総合センター自治振興課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （中野交流センター備品整備）事業	雲南市	1,621,400	1,621,400	総事業費 1,621,400

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称										
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（中野交流センター備品整備）事業										
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市										
交付金事業実施場所		雲南市三刀屋町中野										
交付金事業の概要	<p>雲南市には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織設立されています。地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。</p> <p>三刀屋町中野地区の活動拠点施設である中野交流センターでは、「中野の里づくり委員会」の総会、研修会など、最大40人程度の会が開催される他、各種イベントで積極的に利用されています。既存の会議机は、移転前の交流センター（中野多目的集会センター 昭和60年建設）から引き継いだため、会議机の整備当初から38年が経過しました。老朽化により、机のがたつきや、キャスターから異音がある、天板に穴が開いていて使用しづらいなど、利用者に不便が生じている状況です。</p> <p>利便性向上のため備品を整備することで、地域活動の充実や交流促進事業の強化を図り、地域の諸課題解決に向けた取り組み強化を図ることができます。</p> <p>このような、地域自主組織の主体的な備品の整備に対して、雲南市水力発電施設整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。</p> <p>中野交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幕板棚付き会議テーブル 20台 											
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策I みんなで築くまち</p> <p>施策01 市民が主役のまちづくりの推進</p> <p>まちづくり活動への参加推進・まちづくり活動の拠点整備</p> <p>施策目標：過去1年間に地域活動に参加した市民の割合</p> <table border="0"> <tr> <td>現状</td> <td>63.2%</td> <td>（令和5年度実績）</td> <td>（三刀屋地域）</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>75.0%</td> <td>（令和6年度）</td> <td></td> </tr> </table>				現状	63.2%	（令和5年度実績）	（三刀屋地域）	目標	75.0%	（令和6年度）	
現状	63.2%	（令和5年度実績）	（三刀屋地域）									
目標	75.0%	（令和6年度）										
事業開始年度	令和6年度		事業終了（予定）年度	令和6年度								
事業期間の設定理由												

成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和7年度	
交付金事業の成果目標及び成果実績	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 75.0%	市民アンケートにおいて「過去1年間に地域活動に参加した」についての項目に、したと答えた数/市民アンケート回答者数	成果実績	%	
			目標値	%	75.0
			達成度	%	
評価年度の設定理由					
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
交付金事業の定性的な成果及び評価等					
—					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標	単位	令和6年度		
	中野地区地域自主組織への備品整備数	活動実績	台	20	
		活動見込	台	20	
		達成度	%	100.0	
交付金事業の総事業費等	令和6年度			備考	
総事業費	1,621,400				
交付金充当額	1,621,400				
うち文部科学省分	0				
うち経済産業省分	1,621,400				
交付金事業の契約の概要					
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
補助金交付	補助	中野の里づくり委員会（雲南市）	1,621,400円		
	計		1,621,400円		
交付金事業の担当課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課				
交付金事業の評価課室	雲南市三刀屋総合センター自治振興課				

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （波多コミュニティ協議会 地域内交通整備）事業	雲南市	1,677,852	1,677,852	総事業費 1,677,852

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（波多コミュニティ協議会地域内交通整備）事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市掛合町波多		
交付金事業の概要		<p>雲南市掛合町波多地区は、市民バスの運行がなく、車などの移動手段を持たない高齢者等が多い地域です。このような人たちの外出支援のため、地元自主組織である波多コミュニティ協議会が主体となって、所有する軽自動車「たすけ愛号」で地域内限定の共助交通を無料で運行しています。</p> <p>買い物支援や診療所受診、交流活動参加など、誰もが安心と安全を確保し、地域で暮らし続けるために必要不可欠である「たすけ愛号」の車両整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付します。</p> <p>具体的な内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波多コミュニティ協議会地域内交通整備事業 軽自動車 1台 		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】</p> <p>政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》</p> <p>施策13 公共交通ネットワークの充実 公共交通体系の確保と多様な交通サービスの提供</p> <p>既存の交通網の整備を図るとともに、地域自主組織によるボランティア運送（共助交通）を支援するなど、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。</p> <p>施策目標：市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合</p> <p>現状 53.0%（令和4年度実績） 目標 60.0%（令和6年度）</p>		
事業開始年度		令和6年度	事業終了（予定）年度	令和6年度
事業期間の設定理由				

	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和7年度	
	交付金事業の成果目標及び成果実績	市内の公共交通サービス機関（バス・JR・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合	市民アンケートにおいて「市内の公共交通サービス機関に満足している」と答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%		
目標値				%	60.0		
達成度				%			
評価年度の設定理由							
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
交付金事業の定性的な成果及び評価等							
—							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標			単位	令和6年度	
	波多コミュニティ協議会への車両整備数		活動実績	台	1		
			活動見込	台	1		
			達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和6年度					備考	
総事業費	1,677,852						
交付金充当額	1,677,852						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	1,677,852						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		波多コミュニティ協議会（雲南市）		1,677,852	
計						1,677,852	
交付金事業の担当課室	雲南市掛合総合センター市民サポート課						
交付金事業の評価課室	雲南市掛合総合センター市民サポート課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	福祉対策 措置	雲南市防災備蓄品整備事業	雲南市	646,800	646,800	総事業費 646,800

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	福祉対策措置	雲南市防災備蓄品整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所		雲南市木次町里方
交付金事業の概要	<p>雲南市では、雲南市備蓄計画（令和5年3月策定）に基づき、大規模災害が発生した場合に備えた備蓄を計画的に進めています。計画では、備蓄する品目のほか、品目ごとに備蓄目標数量を設定していますが、計画策定後の経過年月が短いこともあり、現状備蓄目標数量に未達の品目が多数あります。</p> <p>本交付金事業により防災備蓄品を整備することで、避難者のための備蓄品の充実化を図り、避難所の備蓄機能の強化を図ることができます。</p> <p>整備する物品の仕様、数量については以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンタッチテントキングサイズ（幅360cm×奥行き540cm×高さ344cm／重量5.1kg）×1台 ・ワンタッチテントキングサイズ 横幕3.6m（幅360cm×奥行き220cm×高さ0.5cm／重量1.5kg）×2枚 ・ワンタッチテントキングサイズ 横幕5.4m（幅540cm×奥行き220cm×高さ0.5cm／重量2.5kg）×2枚 ・ベンリー間仕切りⅢ（幅210cm×奥行き210cm×高さ180cm／重量6.1kg）×6張 ・エアベッド（幅191cm×奥行き73cm×高さ22cm／重量1.4kg）×50台 ・エコフレンドシート（幅360cm×奥行き540cm×高さ0.1cm／重量3kg）×50枚 	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 第2次雲南市総合計画 後期基本計画（2015-2024） 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策16 消防・防災対策の推進 基本事業 防災意識の向上と実践 方針 避難所運営マニュアルの策定支援に努めるとともに、新たな指定避難所の確保及び避難所の非常備蓄品等の備蓄機能を高めます。</p> <p>【目標】 災害に対する家庭での備えをしている市民の割合 現状値：36.1%（令和5年度実績） 目標値：40.0%（令和6年度）</p>	

事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和6年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和7年度
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 40.0%	市民アンケート内設問「災害に対する家庭での備え」における「している」の回答数÷市民アンケート回答数×100	成果実績	%	
			目標値	%	40.0
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	-				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和6年度	
	防災備蓄品整備数	活動実績	基	111	
		活動見込	基	111	
		達成度	%	100.0	
交付金事業の総事業費等	令和6年度			備考	
総事業費	646,800				
交付金充当額	646,800				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	646,800				
交付金事業の契約の概要					
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
物品購入	指名競争入札	(株)ケイツウ(雲南市)	646,800		
	計		646,800		
交付金事業の担当課室	雲南市防災部防災安全課				
交付金事業の評価課室	雲南市防災部防災安全課				

別紙

1. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事	奥出雲町	4,474,000	4,474,000	総事業費 4,994,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		奥出雲町
交付金事業実施場所	奥出雲町亀嵩	
交付金事業の概要	<p>昭和47年より島根県において着手、昭和61年に完成、平成3年に本町に譲与された大仁農道は、仁多地域と横田地域を縦断する道路であり、また県庁所在地である松江市への最短ルートでもあるため、生活道路としての利用も多い道路ですが、経年による舗装の劣化が著しい箇所があり、通行車両への影響が発生しているなど、交通に支障をきたしている状況です。このため、舗装劣化が著しい箇所の舗装整備が必要なため、本交付金を活用し舗装整備を行います。</p> <p>(令和6年度施工内容) 施工延長 L=90m、 舗装打換え工 A=585㎡</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	<p>第2次奥出雲町総合計画（2021年度-2030年度） 第3章 基本計画 基本目標7-2 生活基盤・交通基盤の整備 安全で快適な暮らしを支える上下水道・道路が適切に整備・維持管理されるとともに、地域特性に応じた公共交通などの移動手段が確保されたまち</p> <p>奥出雲町国土強靱化地域計画（令和5年2月） 6. 起きてはならない最悪の事態ごとの推進方針 （1）大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる 1）建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生 ③交通施設の安全化、防災空間の確保、道路寸断への対応 災害時の避難路及び緊急輸送道路へアクセスする道として、町道、農道、集落道、林道の整備を着実に進める。</p>	

事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和6年度			
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度	
	大仁農道における、安全で快適に通行できる実延長と大仁農道総延長の割合 83.2%	(路面にひび割れ等がなく安全で快適に通行できる実延長) ÷ (総延長) × 100	成果実績	%	83.2	
			目標値	%	83.2	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	-					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	舗装改修の延長	活動実績	m	110	90	90
		活動見込	m	110	90	90
		達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	4,744,300	4,510,000	4,994,000			
交付金充当額	4,469,000	4,466,000	4,474,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,469,000	4,466,000	4,474,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	改修工事	指名競争入札	株式会社YOKOTA(奥出雲町)	4,994,000		
	計			4,994,000		
交付金事業の担当課室	奥出雲町環境政策課					
交付金事業の評価課室	奥出雲町環境政策課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施 設に係る 整備、維 持補修又 は維持運 営等措置	飯南町公民館舗装工事	飯南町	4,454,000	4,454,000	総事業費 4,903,800

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	飯南町公民館舗装工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		飯南町		
交付金事業実施場所		飯南町下来島および長谷		
交付金事業の概要		<p>川尻公民館および長谷公民館は来島ダム施設周辺に位置し、周辺集落の住民が交流するコミュニティ施設および避難所として機能する防災施設を担っています。現在は舗装がされていない状況であり、雨天候時の利用において、泥や水溜まりなどが発生し、利用者にとって危険な状況を引き起こす可能性があるため、施設の機能性と安全性の向上を図るために進入路、駐車場等の舗装工事を行います。</p> <p>令和7年度までに舗装工事（表層工）の完了を目指し、地域住民の生活が豊かになるように努めます。周知の方法は看板設置や広報誌へ掲載します。</p> <p>令和6年度実施内容：川尻公民館の舗装工（下層路盤工） A=518.9㎡ 長谷公民館の舗装工（下層路盤工および表層工） A=414.5㎡ 計 A=933.4㎡</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策 第2次飯南町総合振興計画後期基本計画（令和2年度～令和6年度） 基本施策5-3：防災設備の整備 施策89：防災設備の整備 大規模災害時や救命救急に必要なドクターヘリの離着陸場、備蓄倉庫などを備えた防災拠点施設を整備し、防災設備の充実に取り組みます。</p>		
事業開始年度		令和6年度	事業終了（予定）年度 令和7年度	
事業期間の設定理由		川尻公民館については、令和6年度に下層路盤工、令和7年度に表層工を実施するため		

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度			
	施設の機能性と安全性の向上を図るために必要な舗装面積100%	施設の機能性と安全性の向上を図るために必要な舗装面積の割合(%)	成果実績		%	100.0		
			目標値		%	100.0		
			達成度		%	100.0		
評価年度の設定理由								
毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。								
交付金事業の定性的な成果及び評価等								
-								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和6年度	年度	年度	
	飯南町公民館の舗装面積		活動実績	m ²	933.4			
			活動見込	m ²	933.4			
			達成度	%	100.0			

交付金事業の総事業費等	令和6年度	年度	年度	備考
総事業費	4,903,800			
交付金充当額	4,454,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,454,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
飯南町公民館舗装工事	指名競争入札	松田建設株式会社（飯南町）	4,903,800	
計			4,903,800	
交付金事業の担当課室	飯南町建設課			
交付金事業の評価課室	飯南町建設課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業	美郷町	10,490,000	10,490,000	総事業費 13,333,333

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美郷町
交付金事業実施場所		美郷町粕淵地内
交付金事業の概要	<p>ゴールデンユートピアおおちは、平成元年に旧邑智町の第3次長期総合計画の先導開発事業として位置付けられ、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクト事業（長寿社会対策）の採択を受けて平成2年度～平成6年度にかけて健康センター、スポーツセンター、交流センター及び高齢者センター等から構成される町民の健康づくりや健康増進、軽スポーツ、創作活動の場を提供する施設として、総事業費24億円をかけて建設されました。</p> <p>当時の総合計画にもあるようにゴールデンユートピアの建設に当たっては、「町民誰もが長寿を喜び合い健康が楽しい暮らしづくり」「町民誰もが資源と技術と知恵を生かした生きがい創造に向けた産業おこし」「町民誰もが世代や地域を超えてふれあい学び合う交流による活力ある町づくり」という3つの基本目標を掲げています。とりわけ、長寿・健康という概念においては、オープン当初から療育音楽健康づくり教室や水中運動教室といった高齢者に特化し、施設利用を生かした今で言う介護予防教室を先駆的に実施しており、平成12年の介護保険制度導入後も引き続き町の介護予防事業として定着しております。</p> <p>平成16年10月に旧邑智町と旧大和村とが合併し美郷町になってからも町の介護予防事業、健康づくり事業の拠点として位置づけられ、旧大和村の方からの参加者も増えていく中で、健康指導や運動指導に携わる職員も資格取得や研修を行いスキルアップを図ってきました。</p> <p>このゴールデンユートピアおおちも平成18年度から指定管理者制度による指定管理を受けて一般財団法人美郷町開発公社が管理運営をしており、令和3年度からは新たに石見ワイナリー株式会社が管理運営をしていますが、開館から20年以上が経過し、施設の老朽化等があり、施設維持にも年々経費が増える中でも、町民にとっては最も関心が高い健康維持・増進を図るためにはなくてはならない施設であり、施設として安全で安定的な運営が求められています。</p> <p>本交付金は町が所有する上記施設の管理運営について、石見ワイナリー株式会社と指定管理の基本協定書（令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間）に基づき、その管理委託料年額40,000千円の内、令和6年10月から令和7年1月分の管理委託料13,333,333円に本交付金を充当します。</p> <p>このゴールデンユートピアおおち維持運営事業においては、町の広報誌等で電源立地地域対策交付金が使われていることを周知するとともに、町民の健康志向と生きがいに対する健康増進の拠点施設として今後も利用者の維持・拡大を図ります。</p>	

<p>交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>①交付金事業の成果目標 交付金事業に関する主要政策・施策： 美郷町第2次長期総合計画 後期基本計画（令和3年度～令和7年度） 基本計画Ⅳ 健康 福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち Ⅳ-1 保健・医療の充実 ・「一人ひとりがいきいき、みんなが笑顔でつながる健康な町」を基本理念として、疾病や障がい・加齢などに左右されず健やかで自立した幸せな生活ができる期間、いわゆる「健康寿命」のさらなる延伸や生活の質の向上をめざし、具体的な健康行動をおこす町民が増えることを目指します。</p>				
<p>事業開始年度</p>	<p>令和6年度</p>		<p>事業終了（予定）年度</p>		<p>令和6年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>					
<p>交付金事業の成果目標及び成果実績</p>	<p>成果目標 健康増進施設の利用者数の維持</p>	<p>成果指標 健康増進施設（プール）の利用者の延べ人数</p>	<p>単位 人</p>	<p>評価年度 令和6年度</p>	<p>成果実績 6,981 目標値 5,900 達成度 118.3</p>
<p>評価年度の設定理由</p>					
<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業終了後早期に評価を実施するため。</p>					
<p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>					
<p>前提となる美郷町の人口推移としては、住民基本台帳による当該事業開始時点（9月1日）の人口が令和5年度の4,157人に対して、令和6年度は4,059人であり、約2.4%の減少となっています。そうした中、成果目標に掲げていた令和6年10月から令和7年1月の健康増進施設の利用者数は、令和5年度と比較して増加しました（延べ人数1,090名増、増加率118%）。ただし、令和5年度は熱源（ボイラー）改修工事に伴い、令和6年1月15日から令和6年3月下旬までプール営業を休止としたため、純粋な比較はできませんが、施設の休止期間のない10月から1月までを比較しても、令和6年度の方が利用者数の増加が認められる結果となりました。 利用者数増加の理由として、口コミ等によるプール会員数の増加や、指定管理者のきめ細かい接客サービス提供によるリピーターの確保が挙げられます。来年度以降も引き続き取り組みを継続し、利用人数の維持を図っていきます。</p>					
<p>評価に係る第三者機関等の活用の有無</p>					
<p>無</p>					

	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	交付金事業の活動指標及び活動実績	介護予防教室（水中運動教室・健康教室）の開催回数 1ヶ月4日（週1日開催×4週） ×4ヵ月（交付金事業期間）	活動実績	回	12	-
活動見込			回	16	-	-
達成度			%	75.0	-	-
健康増進施設（プール）の利用者 延べ人数（無料利用を除く）		活動実績	人	3,582	5,891	6,981
		活動見込	人	-	3,600	5,900
		達成度	%	-	163.6	118.3
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	13,333,333	13,333,333	13,333,333			
交付金充当額	10,686,000	10,408,000	10,490,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	10,686,000	10,408,000	10,490,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
ゴールデンユートピアおおちの管理運営		随意契約（特命）		石見ワイナリー株式会社（大田市）		13,333,333（4ヵ月分）
		計				13,333,333
交付金事業の担当課室	美郷町企画推進課					
交付金事業の評価課室	美郷町企画推進課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	後田地区町道舗装改修事業	津和野町	4,547,000	4,547,000	総事業費 4,831,200

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称							
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	後田地区町道舗装改修事業							
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津和野町							
交付金事業実施場所		津和野町後田地内							
交付金事業の概要		<p>本町は「津和野町公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設（町道等）の維持管理を行っており、当該箇所は舗装の劣化による亀裂やひび割れ等が発生し、利用者の通行に支障をきたしている状況であります。</p> <p>このため、利用者の安全確保、利便性の向上を図るため当該交付金を利用し、舗装の改修工事を実施します。</p> <p>また、当該箇所は、「津和野町伝統建造物群保存地域」、「津和野町景観計画」内であることから、景観等を考慮し、カラー舗装を実施します。</p> <p>令和6年度実施内容 カラー舗装 舗装改修延長：L=70m 舗装厚：t=4cm 舗装工：A=216㎡ 区画線工：L=2m</p>							
交付金事業に関する都道府県 又は市町村の主要政策・施策と その目標		<p>【主要政策・施策】</p> <p>津和野町公共施設等総合管理計画 第6 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針 2 インフラ (1) 道路 既存の道路については、維持管理コストや利用状況なども考慮しながら、維持・修繕や今後の方針を検討します。</p>							
事業開始年度		令和6年度		事業終了（予定）年度		令和10年度			
事業期間の設定理由		事業量（舗装改修延長）と交付金見込額より実施期間を設定した。							
交付金事業の成果目標 及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和10年度		
		舗装改修事業により安全に通行できるように なった道路延長の割合 (100%)	R6舗装改修実施延 長 ÷ 舗装改修が必 要な全延長 × 100	成果実績	%				
				目標値	%		100		
				達成度	%				
		評価年度の設定理由							
		事業完了年度とした。							
		交付金事業の定性的な成果及び評価等							
評価に係る第三者機関等の活用の有無									
無									

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	舗装改修延長	活動実績	m	70					
		活動見込	m	70	105	110	110	105	
		達成度	%	100					
交付金事業の総事業費等	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考			
総事業費	4,831,200								
交付金充当額	4,547,000								
うち文部科学省分									
うち経済産業省分	4,547,000								
交付金事業の契約の概要									
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方			契約金額	
	町道舗装改修工事		指名競争入札		第一建設株式会社津和野支店（津和野町）			4,831,200	
	計							4,831,200	
交付金事業の担当課室	津和野町建設課								
交付金事業の評価課室	津和野町建設課								

別紙

I. 事業評価総括表（令和6年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業	吉賀町	2,442,000	2,442,000	総事業費 2,442,000

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町
交付金事業実施場所	吉賀町立柿木小学校（吉賀町柿木）、吉賀町立七日市小学校（吉賀町七日市）、吉賀町立六日市小学校（吉賀町六日市）、吉賀町立蔵木小学校（吉賀町蔵木）、吉賀町立吉賀中学校（吉賀町七日市）	
交付金事業の概要	<p>平成26年度、平成27年度にかけて、町内の小中学校に電子黒板等のICT機器を整備し、以来、授業の効率化や児童生徒の興味を引き出す魅力ある授業の実施に寄与してきました。</p> <p>現在、整備から9、10年が経過し、画面タッチ感度の不良や画面表示に不具合（縦線、影等）が見られる電子黒板があり、授業進行に支障をきたす状況にあります。</p> <p>令和6年度においては、不具合の生じている電子黒板のうち優先度の高いものを更新し、児童生徒に対するより良い教育環境の提供、また円滑な授業の実施を推進します。</p> <p>・令和6年度更新対象 電子黒板 6台、手動昇降スタンド 6台、電源タップ 6個、HDMIケーブル 6個</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	<p>吉賀町教育振興計画（令和4年3月）</p> <p>基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」</p> <p>4. 学習環境の構築と支援体制の整備</p> <p>1) 学びに適した学習環境の構築</p> <p>(2) 学校配置及び学校施設整備</p> <p>《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備</p>	

事業開始年度	令和6年度	事業終了（予定）年度	令和6年度			
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度	
	更新が必要な電子 黒板の割合を 72.2%から55.6% に引き下げる	未更新の電子黒板 数÷令和4年10月 時点で要更新の町 内電子黒板の総数	成果実績	%	55.6	
			目標値	%	55.6	
			達成度	%	100	
	評価年度の設定理由					
	事業完了後、早期に実施するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	電子黒板等の整備台数	活動実績	台	5	5	6
		活動見込	台	5	5	6
		達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考		
総事業費	1,853,500	1,853,500	2,442,000			
交付金充当額	1,320,000	1,510,000	2,442,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	1,320,000	1,510,000	2,442,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額	
	授業用電子黒板等の購入	指名競争入札	株式会社 タイピック（益田市）		2,442,000	
	計				2,442,000	
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会					
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会					

別紙

I. 事業評価総括表(令和6年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事 業(遊具)	吉賀町	1,425,600	1,425,600	総事業費 1,870,000

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事業（遊具）				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町				
交付金事業実施場所	吉賀町立柿木小学校（吉賀町柿木）、吉賀町立七日市小学校（吉賀町七日市）、吉賀町立朝倉小学校（吉賀町朝倉） 吉賀町立六日市小学校（吉賀町六日市）、吉賀町立蔵木小学校（吉賀町蔵木）					
交付金事業の概要	<p>吉賀町内の5校の小学校には全120種の遊具が設置されており、身体を動かす遊びを通じて児童の健全な成長に寄与しています。</p> <p>町では令和4年度に学校遊具安全点検事業を実施し、うち23種の遊具が「修繕又は対策が必要（（一社）日本公演施設業協会「遊具の安全に関する基準）」という判定結果となりました。遊具の劣化状況によっては児童の怪我等の重大な事故につながる可能性があるため、安全点検結果に基づき、令和6年度においては、特に早急に修繕が必要であると認められる遊具の修繕工事を行います。</p> <p>・令和6年度 修繕対象遊具 14種</p>					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>吉賀町教育振興計画（令和4年3月）</p> <p>基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」</p> <p>4. 学習環境の構築と支援体制の整備</p> <p>1) 学びに適した学習環境の構築</p> <p>(2) 学校配置及び学校施設整備</p> <p>《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備</p>					
事業開始年度	令和6年度		事業終了（予定）年度		令和6年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和6年度
	修繕が必要な遊具の割合を0%に引き下げる	未修繕の遊具数÷令和4度点検時点で修繕が必要な遊具の数	成果実績	%		0
			目標値	%		0
			達成度	%		100
	評価年度の設定理由					
	事業完了後、早期に実施するため					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	令和6年度	年度	
	遊具の修繕数		活動実績	種	9	14	
			活動見込	種	9	14	
			達成度	%	100	100	
交付金事業の総事業費等	令和5年度	令和6年度	年度	備考			
総事業費	2,200,000	1,870,000					
交付金充当額	1,653,000	1,425,600					
うち文部科学省分	0	0					
うち経済産業省分	1,653,000	1,425,600					
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
	遊具の修繕	随意契約（不落）	株式会社NAC（山口県防府市）		1,870,000		
	計					1,870,000	
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会						
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会						

別紙

I. 事業評価総括表 (令和6年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業 (追加)	吉賀町	532,400	532,400	総事業費 814,000

II. 事業評価個表（令和6年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業（追加）
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町
交付金事業実施場所	吉賀町立六日市中学校（吉賀町六日市）	
交付金事業の概要	<p>平成26年度、平成27年度にかけて、町内の小中学校に電子黒板等のICT機器を整備し、以来、授業の効率化や児童生徒の興味を引き出す魅力ある授業の実施に寄与してきました。</p> <p>現在、整備から9、10年が経過し、画面タッチ感度の不良や画面表示に不具合（縦線、影等）が見られる電子黒板があり、授業進行に支障をきたす状況にあります。</p> <p>令和6年度下期においては、不具合の生じている電子黒板のうち優先度の高いものを更新し、児童生徒に対するより良い教育環境の提供、また円滑な授業の実施を推進します。</p> <p>・令和6年度下期更新対象 電子黒板 2台、手動昇降スタンド 2台、電源タップ 2個、HDMIケーブル 2個</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	<p>吉賀町教育振興計画（令和4年3月）</p> <p>基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」</p> <p>4. 学習環境の構築と支援体制の整備</p> <p>1) 学びに適した学習環境の構築</p> <p>（2）学校配置及び学校施設整備</p> <p>《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備</p>	

事業開始年度	令和6年度	事業終了（予定）年度	令和6年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和6年度
	更新が必要な電子 黒板の割合を 55.6%から50.0% に引き下げる	未更新の電子黒板 数÷令和4年10月 時点で要更新の町 内電子黒板の総数	成果実績	%	50
			目標値	%	50
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了後、早期に実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和6年度	
	電子黒板等の整備台数		活動実績	台	2
			活動見込	台	2
			達成度	%	100
交付金事業の総事業費等	令和6年度			備考	
総事業費	814,000				
交付金充当額	532,400				
うち文部科学省分	0				
うち経済産業省分	532,400				
交付金事業の契約の概要					
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
	授業用電子黒板等の購入	指名競争入札	株式会社 タイピック（益田市）	814,000	
	計			814,000	
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会				
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会				